



2025年度 ASPIRE単独公募*のご説明

* 旧称アライメント公募

令和7年3月14日(金)



科学技術振興機構

国際部 先端国際共同研究推進室 ASPIREグループ
豊福、橋本

先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）とは

ASPIREの目的



- 世界のトップ科学者層とのネットワーク構築
- 未来を決める国際的なトップ研究コミュニティへの参画
- 将来持続的に世界で活躍できる人材の育成

重要分野における科学技術先進国との国際共同研究の中で
1課題あたり最大5億円規模で国際ネットワーク構築・
国際頭脳循環に資する若手研究者育成等に関する活動を
支援します。

先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）とは

Top Down

文部科学省

分野

AI・情報
バイオ
エネルギー
マテリアル

量子
半導体
通信



対象国・地域

オーストラリア、オーストリア、ベルギー、
カナダ、チェコ、デンマーク、EU、
フィンランド、フランス、ドイツ、イタリア、
オランダ、ノルウェー、ポーランド、
ポルトガル、韓国、スペイン、
スウェーデン、スイス、英国、米国

国が定める分野、対象国・地域との国際共同研究を通した
ネットワーク作り等を支援

大学・国立研究開発法人等

2025年度ASPIRE単独公募

	TopのためのASPIRE (ASPIRE for Top Scientists)	次世代のためのASPIRE (ASPIRE for Rising Scientists)
対象	すでにその分野のトップ研究者として <u>国内・外で卓越した研究実績があり、潤沢な研究資金を得ており</u> 、本事業の目的に合致する国際共同研究をリードしていく研究者	すでに <u>研究自体に必要な資金と独立した研究環境を得ており</u> 、将来のトップ研究者として活躍が期待される研究者
研究分野	AI・情報、バイオ、エネルギー、マテリアル、量子、半導体、通信の7分野	
対象国・地域	オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チェコ、デンマーク、EU*、フィンランド、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、 <u>韓国</u> 、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、米国	
支援規模	最大3.8億円 (直接経費の30%にあたる間接経費を含む場合、最大5億円)	最大6,900万円 (直接経費の30%にあたる間接経費を含む場合、最大9,000万円)
支援期間	5年間 (2025年12月～2031年3月)	3年間 (2025年12月～2029年3月)

*EUのうち上記に記載の無い国を相手国とする場合は、
事前にaspire@jst.go.jpまでお問合せください。

相手国側研究者（相手側PI）について

- ・相手側PIは、下記いずれかを満たしている必要があります。
 - （ i ） 相手国側 FA・研究機関等のプログラムで既に支援を受けている。
 - （ ii ） 相手国側 FA・研究機関等のプログラムに申請済みで、
2025年 5 月末までに採択結果が判明するもの。
- ・対象国・地域における研究者であれば、複数の相手側PIと連携した提案も可能です（ただし、いずれの相手側PIも上記条件を満たす必要あり）。
- ・申請書では相手側PIの実績を記載頂きますが、複数いる場合は人数分記入欄を増やして記載ください。
- ・相手側PIの所属機関からはLoIを必ず入手・提出してください。

単独公募における特徴的な応募要件

2024年度単独公募と同様

国際ネットワークづくり・頭脳循環促進のために、、、

- ①若手研究者等の**原則1年程度**の相手国側での研究実施
- ②相手国側から有望な若手研究者等を招聘
- ③予算の用途制限
(**直接経費の7割以上**をネットワーク構築や国際頭脳循環に資する若手育成を目的として使用)

2024年度単独公募からの主な変更点①

変更点①：ASPIRE公募における重複申請ルールの変更

<2024年度>

研究代表者として同年度に行われるASPIRE公募へ複数申請することは不可

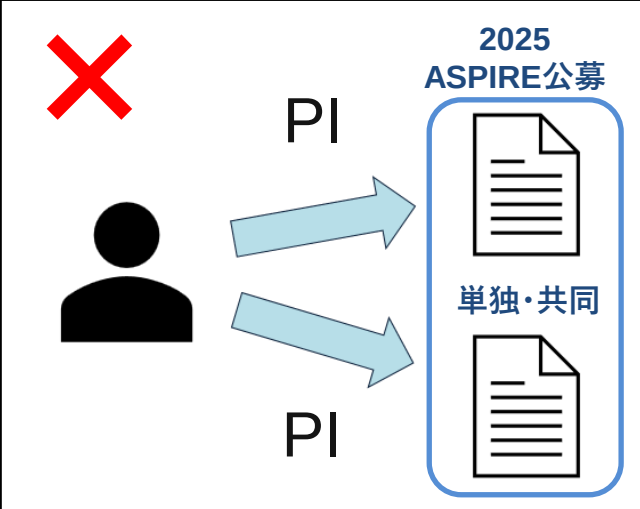
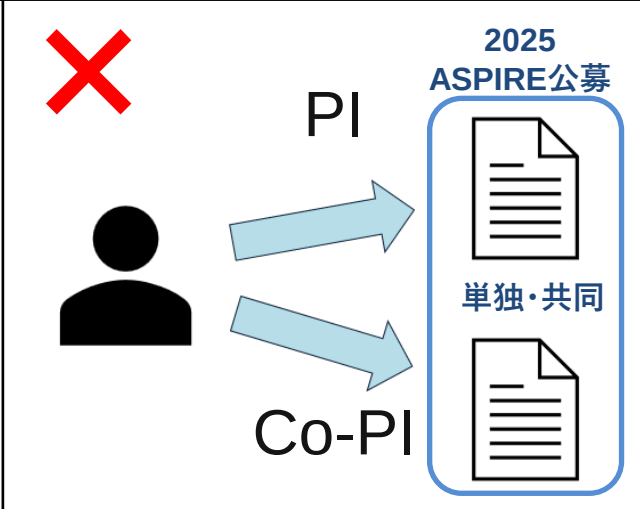
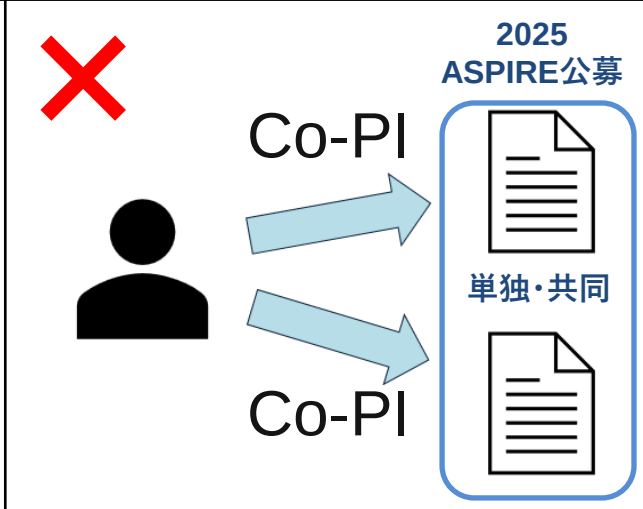


<2025年度>

研究代表者及び主たる共同研究者として同年度に行われるASPIRE公募に複数申請することは不可

2024年度単独公募からの主な変更点①

2025年度ASPIREで実施する全ての公募において、、、

 2025 ASPIRE公募 単独・共同 単独・共同	 2025 ASPIRE公募 単独・共同 単独・共同	 2025 ASPIRE公募 単独・共同 単独・共同
同一研究者が2025年度ASPIRE公募（単独・共同）にPIとして複数申請	同一研究者が2025年度ASPIRE公募（単独・共同）にPI・Co-PIとして複数申請	同一研究者が2025年度ASPIRE公募（単独・共同）にCo-PIとして複数申請

2025年度ASPIRE公募*の中で申請できるのは1つのみです。

*2025年度ASPIRE公募：単独公募（トップ・次世代）、日英共同公募
日蘭共同公募

2024年度単独公募からの主な変更点①

ASPIREで支援中の課題に参画するPI又はCo-PIによる応募については、以下の通り制限があります。

- ASPIRE共同公募で支援中のPI又はCo-PIによる応募は不可とします。
- ASPIRE単独公募で支援中のPIによる応募は可能ですが、本公募で採択された場合は既に支援を受けている課題は中止となります。
- ASPIRE単独公募で支援中のCo-PIによる応募は可能ですが、本公募で採択された場合は、既に支援されている課題のCo-PIからは離脱していただきます。なお、離脱した課題については、予算やチーム編成の見直しを含めた再審査を行います。

ASPIREで支援中の課題に参画するPI又はCo-PIによる応募を検討している場合は、必ず事前に事務局まで相談をお願いします。

2024年度単独公募からの主な変更点②

変更点②：研究セキュリティの確保について

2025年度単独公募 量子分野・半導体分野における申請について研究セキュリティの対応を実施します。

2024年度単独公募からの主な変更点②

- 「大学等の研究セキュリティ確保に向けた文部科学省関係施策における具体的な取組の方向性」（令和6年12月18日文部科学省 科学技術・学術政策局）においては、我が国の経済安全保障上の要請に応えるのみならず、**学問の自由・独立性・開放性・相互主義／互惠性・透明性といった共通の価値観に基づく開かれた研究環境を守り、大学等の国際連携を推進するために、研究セキュリティ確保が必要とされています。**
- 研究セキュリティ確保の取組は、**ゼロリスクを目指したり、幅広い研究に制限を設けたりすることはせず、研究や国際連携を健全に前に進めることを目的に、その際に生じ得るリスクを適切な範囲で軽減するために行うことを原則としています。**また、**一部の研究開発プログラム・研究分野から試行的な取組を開始することとしています。**
- 本公募で機構は、上記指針に則り、研究代表者および研究機関と協議の上、**研究セキュリティ確保の取組を試行的に講じます。**

2024年度単独公募からの主な変更点②

- 研究提案の内容によっては、追加情報（※）の提出や、リスク軽減策（※※）の対応を依頼する場合があります。該当する研究課題には、選考が進んだ段階で、JSTから提案者に個別にご連絡いたします。

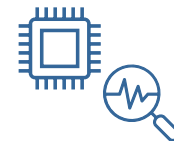
（※） 提案している研究体制や、国内外の協力機関（共同研究先や測定・分析・サンプル加工などの外注先）などについて。

（※※） リスク軽減策の例：電子的アクセスの制限（フォルダアクセス権の設定、ログ記録など）、物理的アクセスの制限（入退室の管理など）、サンプルの加工・供与時の散逸への注意など。



- 提案した研究を実施する上で直接的に必要なリスク軽減策のための経費は、直接経費からの支出が可能です。
- 成果の内容によっては、外部への発表の方法について事前に、JSTから研究代表者にご相談させていただくことがあります（必要最小限の対象範囲に関する成果公開の方法・工夫（※）について、PO/JSTが研究者に事前相談・依頼するものです。それをどのようなかたちで受けるかを最終決定するのは研究者となります）。

（※） 公開の方法・工夫の例：口頭発表資料・論文に掲載する文章・図表の表現の調整、公開時期をずらす等。



申請にあたっての注意点

< 注意点 >

- ・e-Radの「研究インテグリティに係る情報」は、研究代表者及び全ての主たる共同研究者が登録していないと応募できません。
- ・締切時刻までにe-Radによる応募が完了されなかった場合は、いかなる理由があっても審査の対象になりません。

申請書類、書き方のポイント



1. ASPIREの目的にかなった内容になっているか



2. 戦略的な意図のもと計画されているか



3. 時系列を追って具体的に記述されているか

申請書類、書き方のポイント



1. ASPIREの目的にかなった内容になっているか

I 趣旨←

先端国際共同研究推進事業（ASPIRE : Adopting Sustainable Partnerships for Innovative Research Ecosystem）は、我が国の科学技術力の維持・向上を図るため、政策上重要な科学技術分野において、国際共同研究を通じて我が国と欧米等科学技術先進国・地域のトップ研究者同士を結び付け、我が国の研究コミュニティにおいて国際頭脳循環を加速することを目指すものです。←

これにより、我が国と科学技術先進国・地域との間で、最先端の研究開発につながるネットワークを構築しつつ、次世代のトップ研究者を育成し、その流れを能動的に作り出すための構造的仕組みを構築します。←

←

申請書類、書き方のポイント

応募の背景と本申請の強み

Top型

提案課題を通じて該当分野を国際的にリードできると考える理由←

当該分野において提案課題が重要であるとする理由←

国際的なネットワーク構築やコミュニティ参画により当該分野の研究が加速度的に進展すると考える理由←

提案した頭脳循環の促進のための施策が国際的に活躍できる人材の育成に貢献すると考える理由←

提案課題を通じて国際的にリードできる人材に成長できると考える理由←

当該分野において提案課題が重要であるとする理由←

国際的なネットワーク構築やコミュニティ参画により当該分野の研究が加速度的に進展すると考える理由←

提案した頭脳循環の促進のための施策が国際的に活躍できる人材の育成に貢献すると考える理由←

次世代型

「半導体分野は、広い範囲で提案を受け付けますが、マテリアルや物理学の提案を半導体に寄せているようなものではなく、半導体分野の基盤形成にどのように寄与するかを明確にしていきたい」

半導体分野PO総評より

「量子分野に応募される際にはASPIREの量子分野の趣旨に沿った優れた共同研究に関する計画を充実させて頂きたい」

量子分野PO総評より

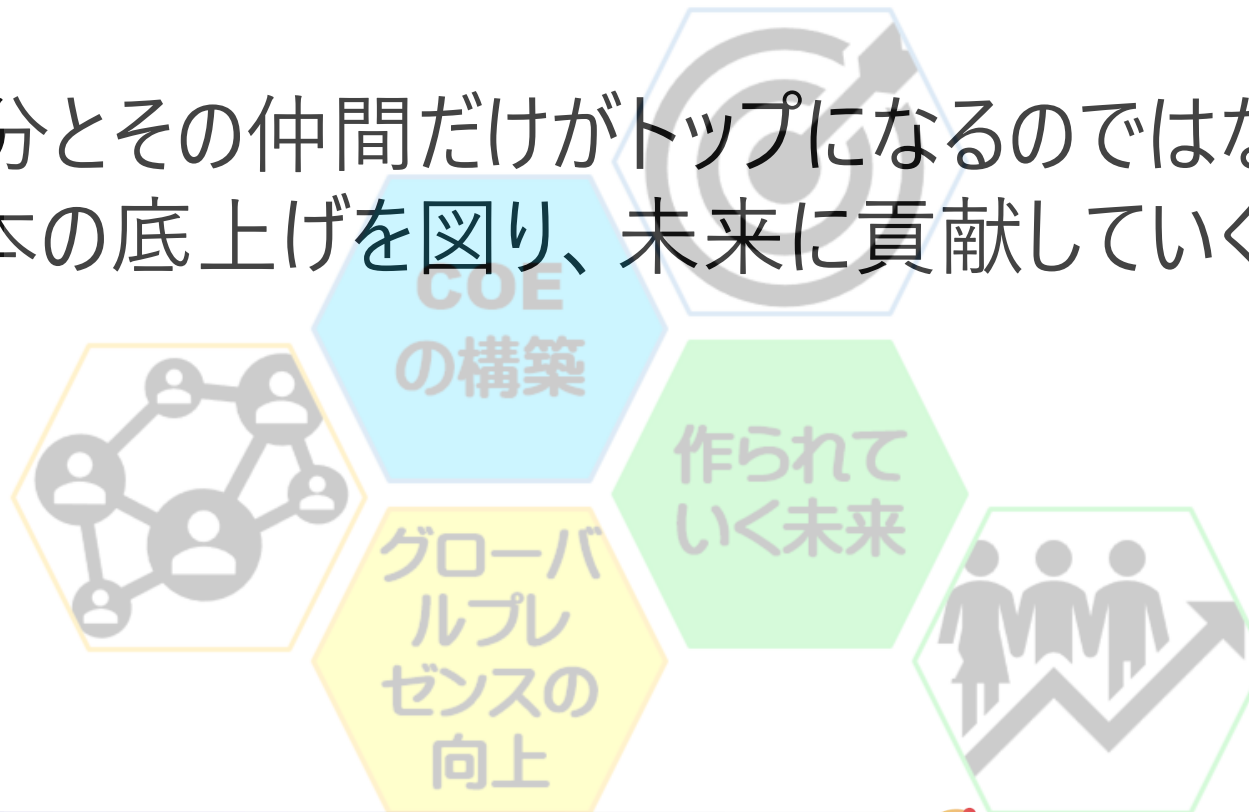
2024年度公募 PD&PO総評

https://www.jst.go.jp/aspire/pdf/sohyo2024_jp.pdf

申請書類、書き方のポイント

自分が世界のトップ研究者となって
その分野を引っ張っていく！

自分とその仲間だけがトップになるのではなく
日本の底上げを図り、未来に貢献していく！



申請書類、書き方のポイント



2. 戦略的な意図のもと計画されているか

Top型

ASPIRE のうち、本公募「Top のための ASPIRE」(ASPIRE FOR TOP SCIENTISTS) では、国際的なトップ研究コミュニティの中で、安定的にそのネットワークを維持しつつ最新の研究開発活動に関与することを目指すトップの研究者やチームを対象として支援を行います。すでにその分野のトップ研究者として国内・外で卓越した研究実績があり、潤沢な研究資金を得ていることを前提として、本事業の目的に合致する国際共同研究をリードする研究者から、①最先端な研究開発につながる国際的ネットワークの構築・拡大や、②国際頭脳循環を促進し国際的なトップ水準の研究機会を若手研究者等へ提供するなど次世代のトップ研究者になることが期待される若手研究者等の育成、を通して、国際的な研究コミュニティへの持続的な参画および連携の土台作りに資する国際共同研究の提案を募集します。 ←

次世代型

ASPIRE のうち、本公募「次世代のための ASPIRE」(ASPIRE FOR RISING SCIENTISTS) では、今後、国際的な研究実績を積み、将来日本のトップ研究者となって国際的な研究コミュニティでの活躍が期待される研究者向けに支援を行います。すでに研究自体に必要な資金と独立した研究環境を得ていることが望ましく、科学技術先進国での学位取得や国際的な研究機関のポストに就くなどして得た知識、技術、ネットワーク等をもって我が国の科学技術の発展に寄与する意欲のある研究者からの、国際頭脳循環の促進や後進の研究者の育成、国際的な研究コミュニティへの持続的な参画及び連携の土台作りに資する国際共同研究の提案を募集します。 ←

申請書類、書き方のポイント

どうやって？

ネットワークを構築し維持していくのか？

研究コミュニティに持続的に参画していくのか？

後進の育成をしていくのか？

申請書類、書き方のポイント



3. 時系列を追って具体的に記述されているか

Top型

- 国際ネットワーク構築・拡大のための戦略・計画（日本語） –2 頁以内– ◀

Strategy and plans for building and expanding international networks in research field ◀

策・参画・発展を目的として、本提案を通して国際的ネットワークを構築・拡大するための具体的な計画を記述してください（特に初年度・次年度の計画については具体的に記述してください）。◀

※下記を必ず含めて記述してください。◀

- a. 最終的にどのような国際的トップコミュニティへの参画を狙うのか、またはどのような国際的な

次世代型

- 研究計画◀

Project Description of Proposed Joint Research – up to 5 pages in total◀

- ・合計 5 ページ以内で記載してください。◀
- ・研究期間全体の内容を記載しますが、研究開始から 1 年目の内容についてはより具体的に記載し、その記載箇所が分かるようにしてください。◀

参考) 採択課題における特徴的な取り組み

- ・PIや若手研究者による海外大学等でのセミナーツアー
 - ・国際シンポジウムの立ち上げ・シリーズ化
 - ・国際コーディネーターの雇用（渡航・招へいやCRA締結のサポート、イベント企画、など）
 - ・海外への拠点・ラボ設置
 - ・有名国際会議の日本誘致
 - ・若手研究者向けセミナーや日本と海外の若手研究者向けのネットワーキングWS
 - ・日本と海外の若手研究者によるWS主催や学会セッションへの応募
 - ・渡航者のサポート体制構築（シニア研究者と若手がペア となり相手国の研究ペアと研究進捗管理をするなど）
 - ・合宿型イベントの実施
 - ・渡航者選定のための委員会設置
 - ・英語対応が可能な事務体制の構築
 - ・目的にあわせて長期・短期渡航を組み合わせて実施
- など

ASPIREの目的を達成するために、効率的かつ効果的な活動を実施するための様々な工夫を実施！！

2025年度単独公募スケジュール

- ・研究提案〆切：**2025年5月12日（月）正午**
- ・書類審査期間：2025年5月下旬～8月上旬
- ・面接審査期間：2025年8月～9月（予定）
- ・審査結果通知：2025年10月（予定）
- ・研究開始：2025年12月（予定）

※面接審査は書類審査を通過された方のみ対象

応募される場合は、

4月17日（木）正午までにASPIREウェブサイトのアンケートフォームより事前連絡をお願いします（推奨）。

ご清聴ありがとうございます



JST ASPIRE
で検索 
またはQRコードから



<https://www.jst.go.jp/aspire/>